

大学院学生募集要項

神学研究科神学専攻(博士前期課程)

2017年度(平成29年度)



東京基督教大学大学院

目 次

	ページ
信仰基準	1
建学の精神	2
大学院の目的	2
神学研究科神学専攻(博士前期課程)教育研究上の目的	2
カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)	3
ディプロマポリシー(修了認定・学位授与に関する方針)	3
1 アドミッションポリシー(入学者受け入れ方針)	4
2 出願資格	4
3 募集人数・入試区分	5
4 事前相談・個別入学資格審査	5
5 選考日程等	5
6 試験内容	6
7 入学検定料	6
8 出願書類	7
9 出願書類提出先・問い合わせ先	8
10 合格発表	8
11 入学手続き・辞退手続き	8
12 長期履修制度	8
13 全寮制	8
14 学生納付金(2017年度)	9
15 奨学金(2017年度予定)	10
16 専任教員一覧(2016年度)	11
17 交通案内・試験会場	12

[巻末挟み込み]

- ✓ 出願書類 様式1～13
- ✓ 大封筒(出願書類提出用)
- ✓ 小封筒(本学からの受験票等送付用)
- ✓ 宛名カード2枚(小封筒の中)

出願に際しての個人情報の取扱い

出願書類等に記載された氏名、住所その他の個人情報は選抜の実施、合否発表、入学手続き、奨学金業務、統計・分析、入学後教育指導上必要とされる範囲、またこれらに付随する事項を行うために適正な範囲で利用し、以上の目的以外には利用しない。

信仰基準

本学で基準とする信仰は、旧・新両約聖書に一貫して啓示され、古代公同信条に表明され、宗教改革において宣明された聖書的・歴史的・正統的信仰です。この信仰は、近代の自然主義的な啓蒙思想や自由主義神学の挑戦を受けながら、正統信仰の弁証と敬虔な信仰の実践とを目指す福音主義へと展開するにいたりました。その福音主義信仰を根本において支える個々の信仰箇条は以下の9箇条に述べるとおりです。

1. 66巻からなる聖書は、聖霊の完全な靈感によって、それぞれの著者を通して、記されたものです。したがって、聖書の記述には、誤りはありません。聖書は、神が救いについて人々に啓示しようとしたすべてのことを含み、信仰と生活との唯一、絶対の規範となるものです。
2. 生ける真の神は唯一で、永遠から永遠に、父・子・聖霊の三位であります。
3. 神は無から、目に見えるもの見えないものすべてを創造されました。すべての被造物は、神の絶対主権のもとにあります。
4. 人類の父祖アダムは、神のかたちにかたどって創造されました。アダムは、初め、神と正しい関係を保ちましたが、サタンの誘惑により、神のみこころに背いて罪を犯しました。その結果、罪の刑罰と腐敗をこうむって、霊的にも、肉体的にも死に服しました。ですから人間は、すべて罪の性質をもって生まれ、その思いとことばと行為において罪あるものです。
5. わたくしたちの主イエス・キリストは真の神であり、また真の人間であります。主は聖霊による身ごもりを経て、処女マリヤから生まれました。主は、世の罪のために十字架にかかり、死んで葬られ聖書に従って三日目によみがえりました。主は天に昇って神の右に座し、わたくしたちのために大祭司の務めを果たされます。
6. 主イエス・キリストの身代わりの死のおかげで、主を信じる者はみな、罪をゆるされて義と認められ、神の子とされて罪の支配から解放されます。これ以外に救いの道はありません。
7. 聖霊は、罪ある者に、罪を認めさせて、信仰に導き、聖潔と奉仕の生活を送る力を与えて、キリストのかたちに似る者としてくださいます。
8. 教会はそのかしらであるキリストのからだですから、聖霊によって新しく生まれた者は、みな教会の一員です。地上の教会はそのかしらであるキリストにふさわしく信仰と純潔を保ち、またその命令に従って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなければなりません。
9. わたくしたちの主であり、また救い主であるキリストは、したしく肉体をもって再臨されます。義なる者も不義なる者も、それぞれ肉体をもってよみがえらせられ、永遠の祝福か、永遠の刑罰かのどちらかへ定められます。終わりに、主は、すべてのものを新たにして、み国を父なる神におわたしになります。

建学の精神

プロテスタント福音主義信仰に立ち、教派を超えて21世紀の教会と社会に奉仕する世界宣教の働き人を育成するために、実践的な神学教育を施す。

1. 福音主義

聖書を誤りのない神のことばと信じ、かつ信仰と生活の唯一の規範とする福音主義に立って、正統的な神学に基礎づけられた教職者および奉仕者を育成する。

2. 超教派

超教派の神学教育に実績を持つ東京キリスト教学園にあって、教派を超えて日本の内外の諸教会と社会に奉仕し、その発展に寄与できる人材を育成する。

3. 実践的神学教育

福音主義諸教会や諸団体の期待と要望に応えるために、実践的神学を深め、教会と社会に仕える姿勢、行動力や指導力を養い、福音を肌で感じさせる人材を育成する。

4. 世界宣教

宣教の主イエス・キリストの大命令に応じて、世界各国とりわけアジア諸国に、キリストのからだである教会を建て上げる働き人として、宣教師や奉仕者を送り出す。

大学院の目的

建学の精神に基づいて、教育基本法に則り、学校教育法の定めるところに従い、キリスト者である男女に、神学に関する学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、高度専門職業人である教会教職者（牧師・宣教師・伝道者・教会教育従事者・教会主事等）および神学研究者・教育者としての深い学識、卓越した能力および品格を培い、教会と社会の安寧と発展に寄与することを目的とする。

神学研究科神学専攻(博士前期課程)教育研究上の目的

プロテスタント・キリスト教の精神に立って、旧約・新約聖書に基づく高度で体系的な神学上の学識・深い霊性と高い倫理性・論理的説明能力・他者との協働による問題解決能力を身につけ、複雑な様相を呈する現代社会に生きる人々に対する深い理解をもって教会を形成し、より良き市民社会の実現のために貢献できる高度専門職業人としての教会教職者を養成することを主要な目的とする。また、将来、本学または他の神学教育機関において神学の教育・研究に携わる神学研究者・教育者の養成もその目的に加える。

カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)

- a. 研究科神学専攻の下、「聖書学」領域と「神学・教会」領域を設置し、両領域から必修科目・選択科目をバランスよく配置することにより、神学に関する高度で体系的な実践的知識を身につけさせることを目的とする。
- b. 基幹科目群による体系的な神学理解に基づき、学生が選択した分野について修士論文を書き上げるために、高度な専門知識と研究能力を深めることのできる専門科目群を設置する。
- c. 研究指導の一環として初年度第1学期に、神学研究の基礎を全学生に教授し、研究分野に焦点を絞る前の、総合的な神学研究への導入を行う。また、最終年度第2学期に全学生を対象に神学に関する総合演習を行い、今日的課題について神学の学識を統合する学際的な共同研究を行う。
- d. 「神学・教会」領域の実践的適用性を重視する諸科目と合わせて、説教と実践神学に関する演習科目において、神学の専門知識を実践に応用する能力及び教会教職者としての倫理性の涵養を目指す。
- e. 神学研究科神学専攻(博士前期課程)においては、その養成する人材像に基づき、教会教職コースと神学研究者・教育者コースの2コースを設け、履修の指針とする。

ディプロマポリシー(修了認定・学位授与に関する方針)

以下に掲げる3つの能力及び専攻に固有の高度な専門知識と研究能力を身につけ、2年以上の在学と所定の30単位以上(神学研究者・教育者コース修了の場合は同単位数)を履修し、かつ研究指導を受けた上で、修士論文を提出してその審査及び最終試験に合格した者に、修士号(神学)を授与する。

ただし、教会教職者コース修了には、上記修了要件を含む42単位以上を、当該の履修モデルに従って修得する必要がある。

- a. 今日の教会と世界が直面する神学的諸課題について、旧約・新約聖書の原語による解釈とそこから導き出せる原則に基づき、キリスト教の豊かな伝統と今日の状況に照らして分析・統合し、現代に対して意味のある神学を創造的に営む能力。
- b. 自らの知見を、他者に説得力をもって伝達するための論理構築をし、表現する能力。
- c. 現代の教会と社会において直面する多様な事態に、高い倫理性と品格をもって取組み、問題解決のために提言するだけでなく、他者を理解し協働する能力。

1 アドミッションポリシー(入学者受け入れ方針)

「教会教職者コース」、「神学研究者・教育者コース」について、以下それぞれの項目いずれにも該当する者であること。

1) 教会教職者コース

- a. 将来、教会教職者(牧師・宣教師・伝道者・教会教育従事者・教会主事等)になるという召命(使命)を持ち、それらの職に就くための高度な専門教育を受けることを欲する者。
- b. プロテスタントのキリスト教会において、受洗後、または幼児洗礼の場合は信仰告白後、3年以上の教会生活を送り、本研究科への入学について教会の推薦を得られる者。
- c. 入学時まで、神学の専門基礎教育(聖書言語を含む)を修了している者。または、本研究科の定める神学に関する知識(聖書言語を含む)を有すると認められる者。

2) 神学研究者・教育者コース

- a. 将来、大学や神学研究・教育機関で働く神学研究者・教育者になるという召命(使命)を持ち、それらの職に就くための高度な専門教育を受けることを欲する者。
- b. プロテスタントのキリスト教会において、受洗後、または幼児洗礼の場合は信仰告白後、3年以上の教会生活を送り、本研究科への入学について教会の推薦を得られる者。ただし、教会制度をとらないプロテスタントの諸団体に属する者は、本条件に準ずる者であること。
- c. 入学時まで、神学の専門基礎教育(聖書言語を含む)を修了している者。または、本研究科の定める神学に関する知識(聖書言語を含む)を有すると認められる者。

2 出願資格

受洗後、キリストへの献身を明確にしたキリスト教信者で、次のいずれかの各号に該当する者。

- 1 大学を卒業した者、および2017年3月に卒業見込みの者。
- 2 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者、および2017年3月までに授与見込みの者。
- 3 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、および2017年3月までに修了見込みの者。
- 4 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、および2017年3月までに修了見込みの者。
- 5 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2017年3月までに授与される見込みの者。
- 6 日本において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、および2017年3月までに修了見込みの者。
- 7 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、および2017年3月までに修了見込みの者。
- 8 文部科学大臣の指定した者。

- 9 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本大学院において、本課程における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者。
- 10 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2017年3月31日までに22歳に達する者。

3 募集人数・入試区分

募集人数 18名

入試区分	受験資格	募集人数
学内推薦	本学神学部神学科教会教職専攻の必須単位を取得し、当該受験年度に卒業見込みの学生で、学業成績が優秀な者。学業成績基準は、当該受験年度の秋学期までのGPAが2.75以上。	12名
一般	日本国籍を有する者で、日本または外国の教育機関で神学の専門基礎教育を受け、本博士前期課程生に求められる知識と能力がある者。	4名
留学生	日本国籍を有しない者で、日本または外国の教育機関で神学の専門基礎教育を受け、本博士前期課程生に求められる知識と能力がある者。	2名

4 事前相談・個別入学資格審査

「一般」、「留学生」区分での受験希望者は出願前に事前相談、または個別入学資格審査を受けること。4ページ「2 出願資格」1～8に該当する場合は「事前相談」、9の場合は「個別入学資格審査」。受付期間は、それぞれの試験の出願開始の概ね1ヶ月前までとする。

以下の書類提出後、直接面談を行なう(遠方の場合、電話面談も可)。

提出物		個別入学資格審査	事前相談	提出先
1 事前相談申込書	様式11	—	○	8ページ「9 出願書類提出先」と同じ
2 個別入学資格審査申請書	様式12	○	—	
3 卒業校の成績証明書、シラバス、卒業(見込)証明書 ※1		○	○	
4 学生生活相談書 ※2	様式13	希望者	希望者	

※1 卒業校：神学の専門基礎教育を修了した学校。

※2 身体等に障がいがあり、受験及び修学上特別の配慮を希望する場合は提出ください。なお、学生生活相談書の内容は入試判定とは無関係です。

5 選考日程

入試区分	試験	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続き締切日
一般 留学生	第一期	2016年10月24日(月)～ 2016年11月4日(金)必着	2016年11月22日(火)	2016年12月1日(木)	2016年12月15日(木) 必着
学内推薦	学内推薦	2016年12月7日(水)～ 2016年12月12日(月)必着	2016年12月19日(月)	2017年1月19日(木)	2017年2月2日(木) 必着
一般 留学生	第二期	2017年1月5日(木)～ 2017年1月16日(月)必着	2017年1月27日(金)	2017年2月9日(木)	2017年2月27日(月) 必着

注) ①出願書類は出願期間内に必着のこと。窓口へ直接持参の場合は、窓口対応時間内に提出のこと。

②留学生で第二期試験を希望する者は事前に相談すること。

6 試験内容

入試区分	内 容	時間
学内推薦	① 面接 ※1	30分
一 般	① 聖書学、神学	100分
	② 聖書言語(ギリシア語またはヘブライ語) ※2	70分
	③ 英語 ※3	70分
	④ 面接 ※1	30分
留 学 生	① 聖書学、神学 ※5	100分
	② 聖書言語(ギリシア語またはヘブライ語) ※2 ※5	70分
	③ 英語 ※3	70分
	④ 日本語 ※4	10分
	⑤ 面接 ※1	30分

※1 身上、研究テーマ希望書等の口述試験を含む。

※2 文法修了程度の習熟度を問う。

※3 以下のいずれかの取得者は英語の試験が免除。ただし試験日より起算して2年以内を有効とする。

(1) 実用英語技能検定準1級以上

(2) TOEIC785点以上

(3) TOEFLiBT72点以上 (CBT200点以上)

スコアレポートは原則として、試験実施機関から直接本学へ送付されるよう手配する。本学IDコード「8472」

また、英語で大学学部以上の教育課程を修了した者も免除。

※4 口答試験。面接の際に合わせて行なうため、面接時間を合計40分とする。

日本語能力試験N1 レベル合格者、および日本の大学または大学院において日本語により学業を修めた者は免除。

※5 日本語を母国語としない者は「聖書学、神学」、「聖書言語」での母国語・日本語の辞書持込可。(電子辞書は不可)

7 入学検定料

金 額	注 意
35,000円	<ul style="list-style-type: none"> 検定料は出願書類を提出する以前に、出願書類の振込依頼書(様式1)で銀行にて振込手続きを行うこと。 振込みが確認できない場合は受験を許可しない場合がある。 振込金受領書は検定料の入金を証明するものなので、大切に保管すること。 いったん納入された検定料は、いかなる理由があっても返還しない。

8 出願書類

No.	提出物	学内	一般	留学	注意	
1	受験票、入学志願票	様式1	○	○	○	志願票に写真貼付。(C、Dを提出)
2	履歴書、身上書	様式2	○	○	○	写真貼付。
3	自己紹介、救いと献身の証し	様式3	—	○	○	証しは1,200字～2,000字。
4	学内入試推薦書		○	—	—	担任に相談した上で、2016年11月30日(水)午後4時45分までに教務部へ「*学内推薦申込書」を提出。 * 教務窓口カウンターにて配布。
5	所属教会牧師等推薦書	様式4	○	○	○	厳封。英文可。
6	教会生活報告書	様式5	○	○	○	厳封。英文可。出願前の1年間出席した教会の牧師に依頼。
7	キリスト者推薦書	様式6	—	○	○	本人の3親等以内の親族は除く。 厳封。英文可。
8	健康診断証明書	様式7	※○	○	○	本学は全寮制のため提出を求めているが合否とは無関係である。現在通院中の者は担当医の診断書も提出。 ※ 在学生は5月に受診した健康診断の「結果票」のコピーを提出。
9	成績証明書		—	※—	※—	※「事前相談」、「個別入学資格検査」の際に提出。
10	卒業見込証明書		—	※—	※—	※「事前相談」、「個別入学資格検査」の際に提出。
11	研究テーマ希望書	様式8	○	○	○	研究領域、指導教員については、11ページ「16 専任教員一覧」および本学シラバス参照。
12	宛名ラベル	巻末	—	○	○	住所、氏名を記入。(巻末小封筒の中)
13	受験票送付用小封筒	巻末	○	○	○	392円分の切手を貼り、住所・氏名を明記。在学生は切手不要。
14	特別通学許可願い	様式9	希望者	希望者	希望者	本学は全寮制であるが、特別な理由がある場合、通学が認められる。
15	同窓生家族特別奨学金申請書・誓約書	様式10	該当者	該当者	該当者	10ページ「15 奨学金」参照。
16	証明写真2枚		○	○	○	縦4cm×横3cm 裏面に氏名とフリガナを記入。 受験票、履歴書に貼付の他に提出。
17	パスポート及び在留カードのコピー		—	—	○	パスポートは氏名欄及び在留資格の掲載されたページのコピー。 日本在住者は在留カード両面のコピーも合わせて提出。
18	所属教会の週報および教団等の信仰基準		—	該当者	該当者	外国の教会に所属している者のみ。
19	日本語能力試験N1レベル合格またはそれと同等の日本語能力を有する証明書		—	—	希望者	日本語の試験免除希望者のみ。
20	英語能力等を証明する書類		—	希望者	希望者	英語の試験免除希望者のみ。

注意

- ①上記の出願書類は巻末の大封筒(出願書類用)を使用し、出願期間内に本学へ届くよう、**簡易書留**で郵送すること。
- ②持参する場合は**窓口対応時間内**に受け付ける。午前9時～午前11時50分、午前12時50分～午後4時45分
- ③様式の指定のない出願書類は受験生が各自用意すること。
- ④いったん提出された書類は、いかなる理由があっても返還しない。

9 出願書類提出先・問い合わせ先

東京基督教大学 教務部大学院入試担当

〒270-1347 千葉県印西市内野三丁目301-5-1

TEL 0476-46-1131
 FAX 0476-46-1405
 E-Mail graduate-school@tci.ac.jp
 WEBアドレス <http://www.tci.ac.jp>

窓口対応時間(月曜日～金曜日)

午前9時～午前11時50分、午前12時50分～午後4時45分

10 合格発表

各試験の合格発表日に、合否結果を受験者全員へ発送する。電話での問合せには応じない。

合格発表日から数日経過しても通知が届かない場合は、大学院入試担当まで問い合わせること。

なお、受験者の便宜を考慮し、補助的な手段として以下の方法でも発表するが、必ず本学から発送される「合格通知」で確認すること。

- ・合格発表日午前10時より本学キャンパス内中央通路掲示板に、合格者の受験番号を掲示。
- ・合格発表日午前10時より本学WEBサイトに、合格者の受験番号を掲載。

WEBアドレス <http://www.tci.ac.jp>

11 入学手続き・辞退手続き

合格者は、入学手続き締切日までに学生納付金を納入し、所定の書類を提出すること。締切日までに手続きを完了しない場合は、合格を取り消すことがある。詳細は合格通知書類とともに郵送する。入学手続き終了後に本学への入学を辞退する場合、2017年3月31日(金)までに申し出があれば、納付金を返還する。

12 長期履修制度

職業を有している等の事情により、標準修業年限(2年)を超えて一定期間にわたり計画的に育課程を履修し修了することができる制度。長期履修期間は標準就業年限の2倍である4年を超えないこと。学生納付金は、以下のように徴収する。希望する場合は、事前に大学院入試担当まで相談のこと。

1年目、2年目	通常の学生納付金と同額
3年目、4年目	在籍料：通常の学生納付金より徴収する授業料及び施設費の合計額の10分の1 教育充実費：通常の納付金と同額 寮費、食費：通常の納付金と同額

13 全寮制

本学学生は原則として全員入寮し、寮教育を受ける。特別な理由があり入学時より通学を希望する場合は、出願時に「特別通学許可願(様式9)」を提出すること。

1 4 学生納付金 (2017年度)

合格者は入学締切日までに「初年度納付額」を納める。分割を希望する場合、年3回^{※1}の分納が可能で、入学手続きの際は「入学手続き時最少納付額」を納入する。

【初年度納付額】

単位：円

	独身寮	家族寮 A (44㎡) ※2 1S,2DK,B,T	家族寮 B (39㎡) 2DK,B,T	家族寮 C (37㎡) 1S,1DK,B,T	入学手続き時 最少納付額
授業料	672,000	672,000	672,000	672,000	343,000
施設費	205,000	205,000	205,000	205,000	
教育充実費	51,000	51,000	51,000	51,000	
小計①	928,000	928,000	928,000	928,000	
寮費	※3 248,000	248,000	248,000	248,000	190,000
家族寮加算分	-	340,000	282,000	242,000	
デポジット※4	-	20,000	20,000	20,000	
寮室電気料金	10,000	-	-	-	
食費	294,000	-	-	-	
小計②	552,000	608,000	550,000	510,000	
合計(①+②)	1,480,000	1,536,000	1,478,000	1,438,000	533,000

【初年度納付額 内部進学者】

単位：円

	独身寮	家族寮 A (44㎡) ※2 1S,2DK,B,T	家族寮 B (39㎡) 2DK,B,T	家族寮 C (37㎡) 1S,1DK,B,T	入学手続き時 最少納付額
授業料	588,000	588,000	588,000	588,000	315,000
施設費	205,000	205,000	205,000	205,000	
教育充実費	51,000	51,000	51,000	51,000	
小計①	844,000	844,000	844,000	844,000	
寮費	※3 220,000	220,000	220,000	220,000	180,000
家族寮加算分	-	340,000	282,000	242,000	
寮室電気料金	10,000	-	-	-	
食費	294,000	-	-	-	
小計②	524,000	560,000	502,000	462,000	
合計(①+②)	1,368,000	1,404,000	1,346,000	1,306,000	

博士前期課程入学時に家族寮へ転寮・入寮の場合は、デポジット(20,000円)が必要。

※1 年3回：入学手続き時、8月、12月

※2 S：スタディールーム、DK：ダイニングキッチン、B：バス、T：トイレ

※3 シオン寮(独身寮、個室ユニット形式)に入寮する場合は別途追加料金(年間20,000円)が必要。

※4 退寮時に経年劣化以外の修繕が生じた分に充てる。

※5 学納金は年度ごとに改定される場合がある。また食費は物価変動に応じて年度の途中で改定する場合がある。

15 奨学金 (2017年度予定)

※ 内容は変更される場合がある。

学 内	対象・金額 等
教会教職課程奨学金 (1年次授業料減免)	本学既卒者および内部進学者で成績が優秀、かつ経済的必要のある者。最大40万円給付。
教会教職課程奨学金 (2年次授業料減免)	前年度の成績が優秀で経済的必要のある者。最大授業料全額給付。
同窓生家族特別奨学金 (出願時に申請)	本学及び東京キリスト教学園各前身校の同窓生家族。10万円給付。出願書類「様式10」を提出のこと。
共立元木奨学金	東京キリスト教学園各校及びその前身校の女子卒業生または女子修了生の子女。最大15万円給付。

※ 上記奨学金は、授業料との相殺支給。

学 外	対象・金額 等
上田メソッド奨学金	教会教職者コースに在籍する者(学部教会教職専攻生含む) 年額50万円上限に給付。
オンヌリ教会奨学金	韓国籍の留学生で学業、人物ともに秀で、経済的援助が必要な者。年額30万円程度。(為替により変動あり。)

※ 上記奨学金は、授業料との相殺支給。

日本学生支援機構	種類・金額・対象 等
第一種奨学金(無利子)	貸与制無利息。貸与月額50,000円または88,000円から選択。
第二種奨学金(有利子)	貸与制有利子。貸与月額50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円から選択。
日本学生支援機構学習奨励費	給付奨学金。在留資格が「留学」である外国籍の者。 大学院レベル 月額48,000円

日本学生支援機構ホームページ <http://www.jasso.go.jp/>

<民間教育ローン>

本学では学生向けの民間の教育ローンも紹介しています。
民間教育ローンを利用された場合に、本学がその利子について負担する制度もあります。
詳細は下記の連絡先までお尋ねください。

問い合わせ先
東京基督教大学 学生部 民間教育ローン担当
TEL 0476-31-5520

1 6 専任教員一覧 (2016年度)

※ オムニバス方式(複数教員で担当)

研究領域	教員 (職位)	担当科目
聖書学	木内 伸嘉 (教授)	聖書学特殊研究Ⅰ (旧約・新約聖書緒論) ※
		聖書学特殊研究Ⅲ (五書研究)
		聖書学特殊研究Ⅵ (預言書研究)
		神学研究の基礎 ※
		研究指導
	ランドル・ショート (教授)	聖書学特殊研究Ⅳ (歴史書研究)
		聖書学特殊研究Ⅴ (聖文書研究)
		神学研究の基礎 ※
		神学総合演習 ※
	伊藤 明生 (教授)	研究指導
		聖書学特殊研究Ⅰ (旧約・新約聖書緒論) ※
		聖書学特殊研究Ⅱ (聖書解釈学)
		聖書学特殊研究Ⅶ (新約聖書とその世界)
		聖書学特殊研究Ⅸ (パウロ研究)
		神学研究の基礎 ※
		神学総合演習 ※
研究指導		
小林 高德 (教授)	聖書学特殊研究Ⅷ (福音書研究)	
	聖書学特殊研究Ⅹ (新約聖書神学)	
	研究指導	
神学・教会	山口 陽一 (教授)	神学・教会特殊研究Ⅲ (日本キリスト教史)
		神学・教会特殊研究Ⅵ (教会とミニストリー) ※
		神学研究の基礎 ※
		神学総合演習 ※
		説教演習Ⅱ
		実践神学演習Ⅱ
		教会教職特別セミナーⅠ,Ⅱ ※
		神学インターンⅠ,Ⅱ,Ⅲ
		研究指導
	稲垣 久和 (教授)	神学・教会特殊研究Ⅱ (宗教多元社会と公共哲学)
		神学・教会特殊研究Ⅸ (キリスト教公共福祉)
		神学総合演習 ※
		研究指導
	岡村 直樹 (教授)	神学・教会特殊研究Ⅵ (教会とミニストリー) ※
		神学・教会特殊研究Ⅶ (宗教教育学)
		神学・教会特殊研究Ⅷ (宗教心の発達)
		神学研究の基礎 ※
		神学総合演習 ※
		実践神学演習Ⅰ
	研究指導	
	倉沢 正則 (教授)	神学・教会特殊研究Ⅳ (現代キリスト教の世界的展開) ※
		研究指導
	ステパノ・フランクリン (教授)	研究指導

シラバスをWeb上で公開しています。

<http://syllabus.tci.ac.jp/>

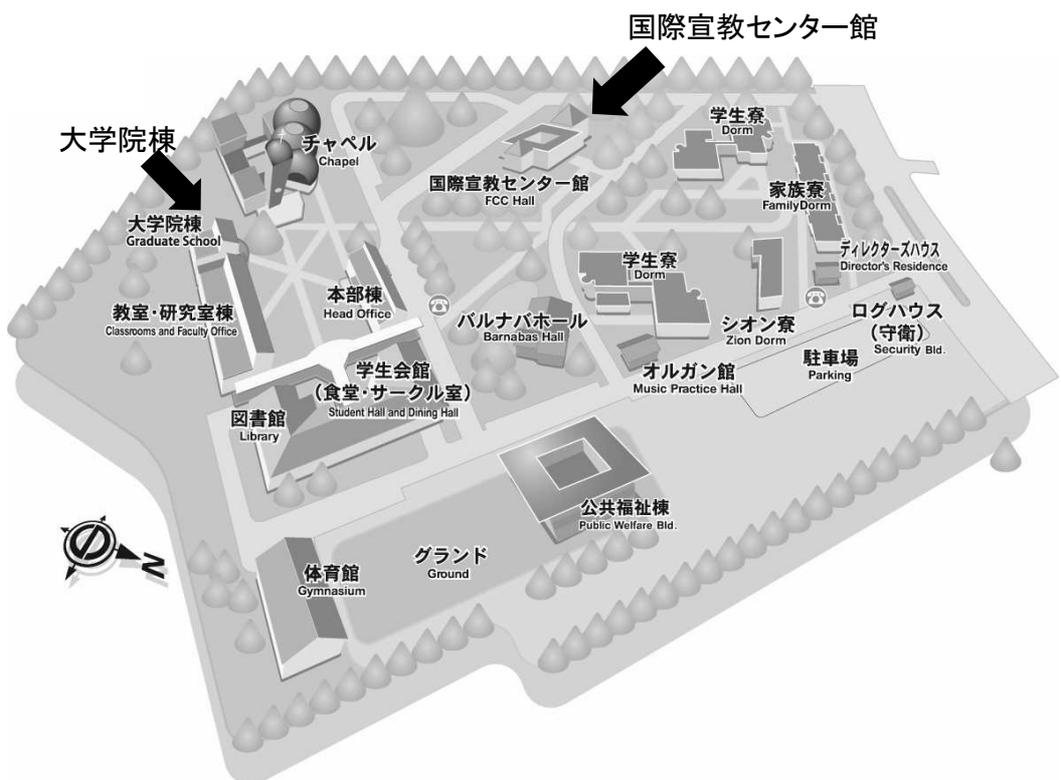
17 交通案内・試験会場

交通案内



試験会場

東京基督教大学キャンパス内



東京基督教大学大学院

〒270-1347 千葉県印西市内野三丁目301-5-1

TEL 0476-46-1131

FAX 0476-46-1405

Email graduate-school@tci.ac.jp